

棚POWER[®] 操作研修会

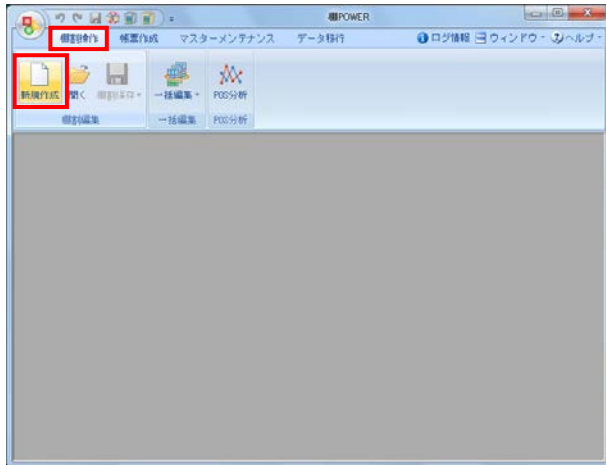
2016 年 06 月



目 次

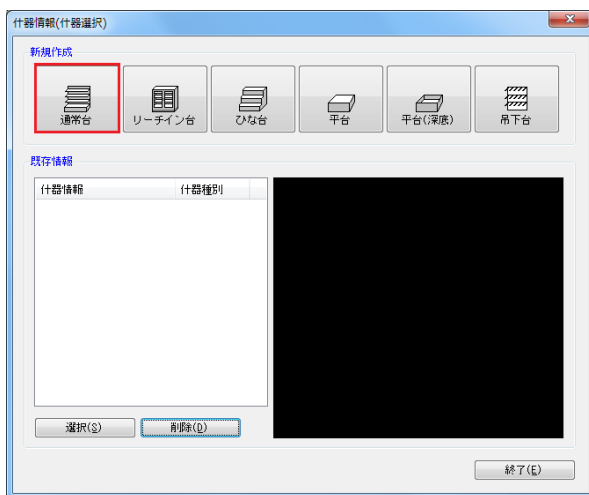
1.	棚割モデルの新規作成	1
	新規作成	1
	内部モデルを開く	2
2.	什器を配置する	3
	什器配置	3
	詳細設定	4
	一括設定	5
3.	商品を陳列する	3
	商品の陳列	3
	仮置情報	8
	積上/積下	9
	配置変更	9
4.	棚割モデルに図形や文字を挿入する	10
	図形を挿入	10
	文字を挿入	10
5.	開いている棚割モデルの帳票を作成する	11
	棚割図表	11
	陳列商品一覧表	13
	追加変更一覧表	14
6.	作成した棚割モデルを保存する	15
	内部モデル保存	15
	外部モデル保存	16
7.	複数の棚割モデルの帳票を一括で作成する	17
	一括出力	17
	一括出力（追加変更）	18
8.	陳列商品を別商品と入換える	19
9.	採用されている商品を確認する	21

■棚割モデルの新規作成



1. 棚POWERでは作成する棚割のことを「棚割モデル」と呼びます。

新規で棚割モデルを作成する場合は、[棚割操作]－[新規作成]をクリックします。



2. [什器情報(什器選択)]画面が表示されます。ここでは[通常台]をクリックします。各什器の詳細は下記の通りです。

【通常台】

一般的な1段目に袴があるタイプの什器。

【リーチイン台】

通常台に枠と扉を付けた什器。
冷蔵用の棚などに使用します。

【ひな台】

商品を階段状に陳列する什器。
ひな壇陳列を再現する場合に使用します。

【平台】

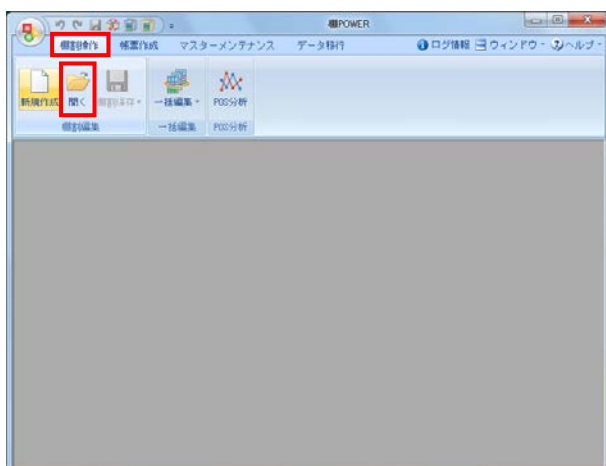
棚板がなく、台の上に商品を置くタイプの什器。
島陳列を再現する場合に活用します。

【平台(深底)】

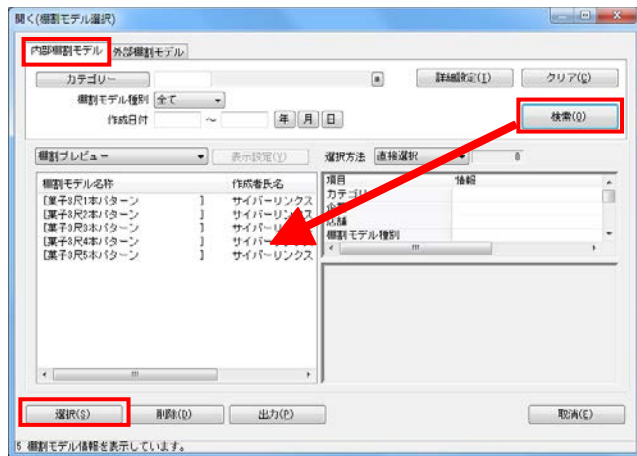
棚板がなく、台の中に商品を納めるタイプの什器。
冷蔵ケースを再現する場合に活用します。

【吊下台】

1段目に袴がないタイプの什器



3. 保存している棚割モデルを開く場合には、[棚割操作]－[開く]をクリックします。

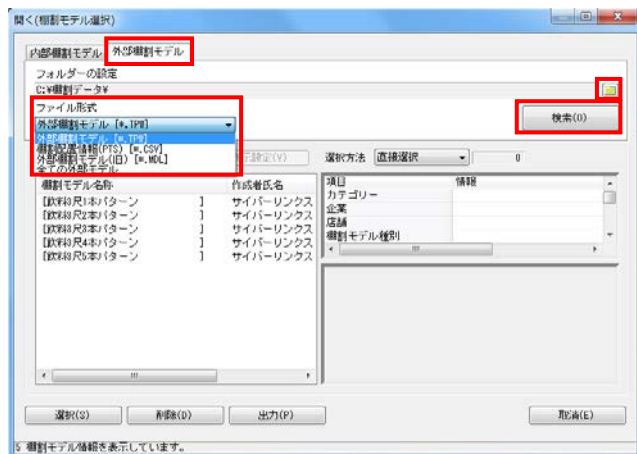


- 内部モデルを開く場合には「内部棚割モデル」タブ内にある「検索」をクリックし、一覧より編集したい棚割モデルを選択して、画面左下の「選択」をクリックします。

参考

「カテゴリ」「棚割モデル種別」「作成日付」を指定して対象モデルを絞り込むことが可能です。

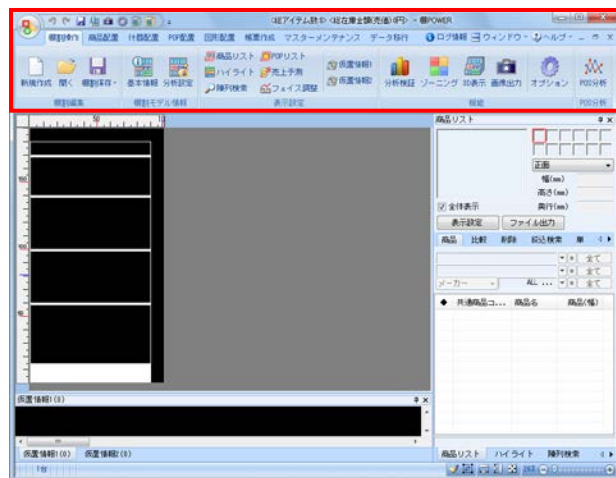
また、「詳細設定」から企業/店舗などの棚割分類を指定したり、陳列済商品のJANコードで指定するなどの絞り込みが可能です。



- 外部モデルを開く場合には、「外部棚割モデル」タブより、フォルダーの設定にあるフォルダーアイコンをクリックして、外部モデルの保存先を指定します。

次に、指定されたフォルダー内にある外部モデルの形式をファイル形式の一覧より選択して「検索」をクリックします。

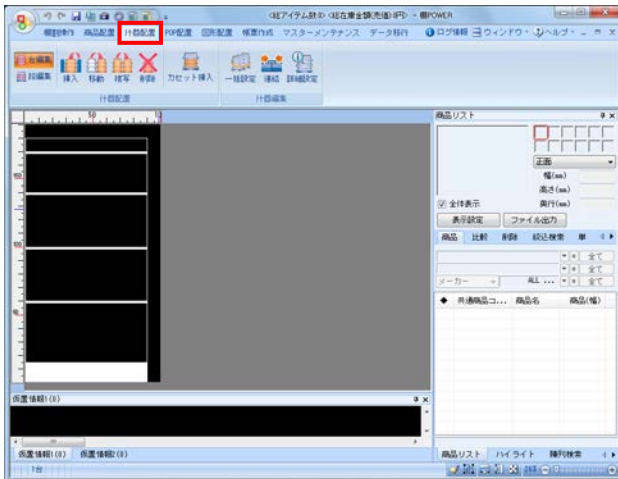
検索結果の一覧より編集したい棚割モデルを選択して「選択」をクリックすると棚割モデルが開きます。



- 棚割編集画面が表示されます。
棚割編集画面を表示させると各タブの構成が変わります。

棚割モデルの作成に必要な「商品配置」や「什器配置」といったタブ(機能)が表示されます。

■ 什器を配置する

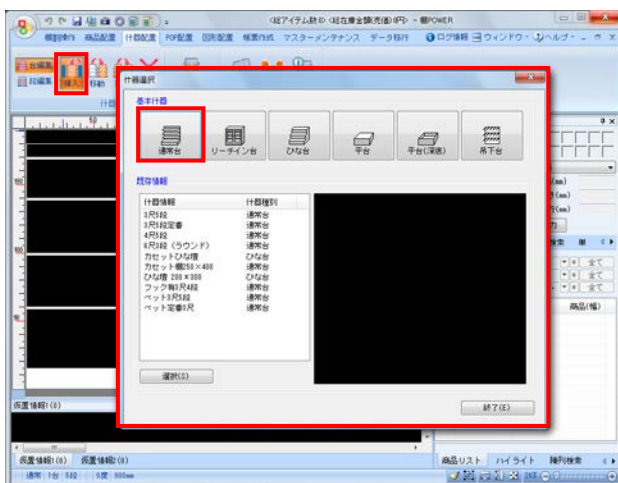


1. まずは什器の配置(編集)を行ないます。
[什器配置]タブをクリックします。

[什器配置]タブ内には什器の編集に関する機能が集約されています。

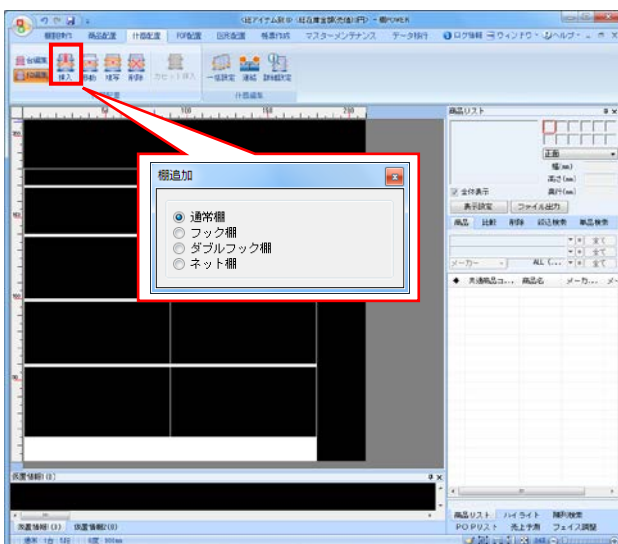


2. 左端の「台編集」「段編集」のアイコンから、
台を編集するのか、段(棚)を編集するのかを決定します。



3. 新たに台を挿入する場合は、[台編集] - [挿入] から
挿入する什器を選択します。

挿入したい場所でクリックすると、台が追加されます。



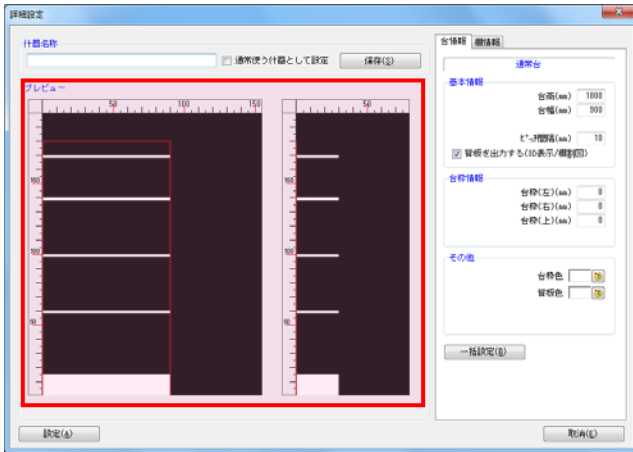
4. 新たに棚を挿入したい場合は、[段編集] - [挿入] から
棚の種類を選択します。

挿入する棚は、「通常棚」「フック棚」「ダブルフック棚」「ネット棚」より選択して、挿入したい場所でクリックします。



5. 「挿入」「移動」「複写」「削除」の機能を活用することで基本的な什器編集が可能です。什器の細かな設定は「詳細設定」から調整します。

【什器配置】－「詳細設定」を選択して、編集したい什器をクリックします。

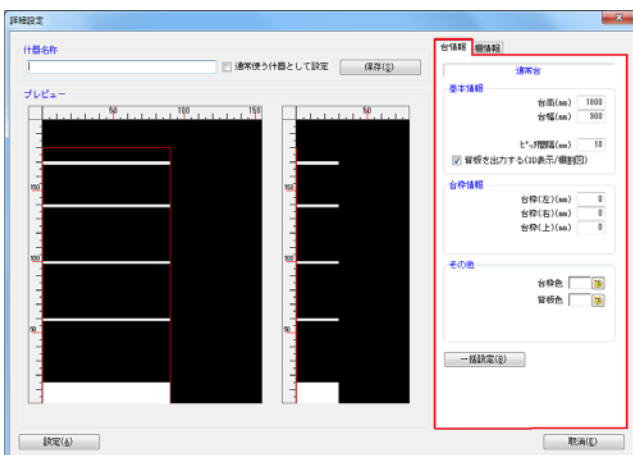


6. 【詳細設定】画面が表示されます。画面左側には什器のプレビュー画面が表示されます。

プレビューよりマウス操作で什器を編集することが可能です。

例えば、台幅を変更したい場合、台の右端にある赤線にマウスカーソルを合わせるとカーソルアイコンの形状(左右の矢印)が変化します。

カーソルアイコンの形状変化を確認後にクリックします。変更したい位置で再度クリックすると台幅の変更されます。同じ手順で台高や棚高の変更も可能です。



7. 詳細設定画面右には台の高さや幅が数値で表示されます。この数値を変更して什器のサイズを変更することもできます。

【台情報】では、台全体のデータが表示されます。台幅を変更する場合、「台幅」の項目に数値を入力します。

入力後にEnterキーを押すとプレビューに反映されます。

【基本情報】

・台高

台の高さを数値を直接入力して変更します。

・台幅

台の幅を数値を直接入力して変更します。

・ピッチ間隔

棚を移動する間隔の基準値を入力します。

・背板を出力する(3D表示/棚割図)

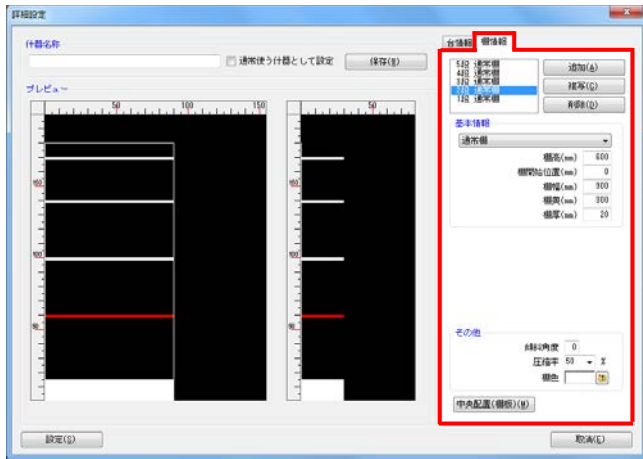
チェックを入れると3D表示や棚割図を出力する場合に背板を含めて出力されます。

【台枠情報】

台枠がある什器を再現する際に、数値を入力して台枠の厚さを設定します。

【その他】

台枠や背板の色を決定します。ペイントアイコンより色の選択が可能です。



8. 「棚情報」では各段の棚高や棚幅が表示されます。

編集したい段(棚)を選択します。
選択した段の棚高を変更する場合は、「棚高」の項目に数値を入力します。

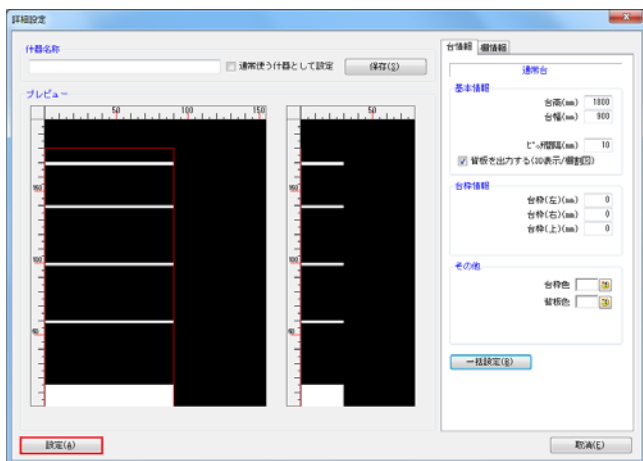
【基本情報】

「棚高」「棚開始位置」「棚幅」「棚奥」「棚厚」の項目に数値を入力します。数値入力後にEnterキーを押下するとプレビューに反映します。

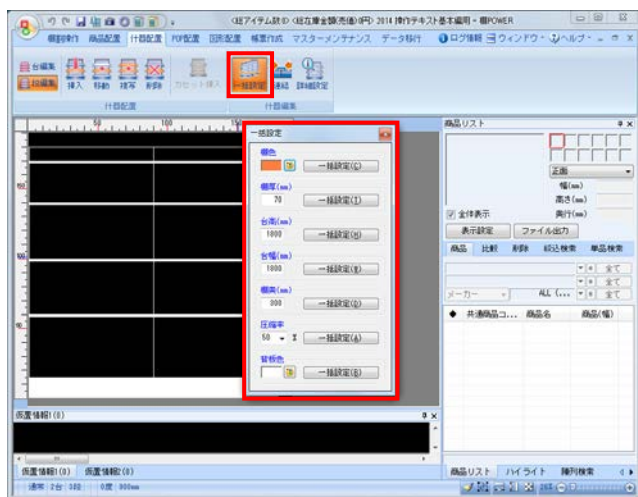
【その他】

「傾斜角度」「圧縮率」「棚色」の設定を行ないます。

- ※ 下段から1段目としてカウントします。
- ※ 傾斜角度は3D表示で確認できます。
- ※ 圧縮率は圧縮陳列を再現する場合に設定します。
圧縮率を「100%」にすると圧縮陳列されませんが、「50～99%」にするとその値に応じて圧縮陳列されます。



9. 各設定完了後、画面左下にある「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。



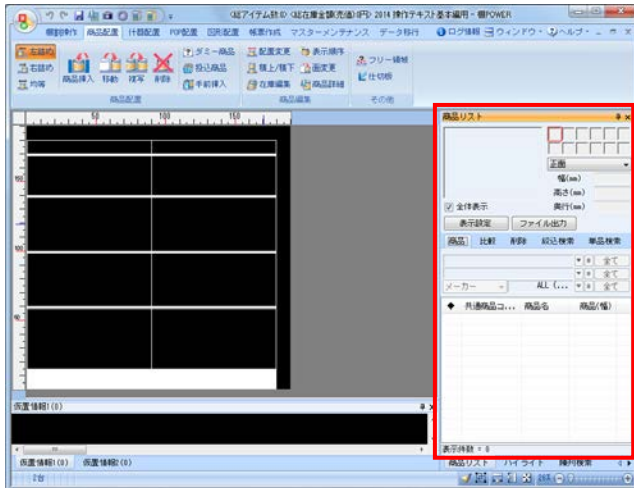
10. 一括設定では、全台を対象に仕子の編集を一括で実行することが可能です。

「仕子配置」－「一括設定」をクリックします。

「棚色」「背板色」ではペイントアイコンから色選択を、「台高」「台幅」「棚奥」などは数値を入力します。
(「圧縮率」は圧縮陳列を再現する場合に設定します)

設定後、各項目の「一括設定」をクリックすると全台に設定内容が反映されます。

■商品を陳列する



1. 商品の陳列を行ないます。

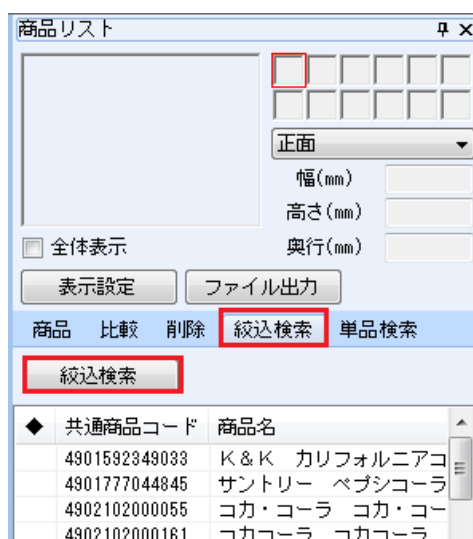
「商品配置」タブに、商品の陳列 (配置) に関する機能が集約されています。

棚割編集画面の右側には商品リストが表示されます。
この商品リストより陳列する商品を選択します。



2. 「単品検索」タブから陳列したい商品のJANコードやプライベートコードを入力して特定の商品を検索できます。

「共通商品コード」欄にJANコードを13桁 (または8桁など) 入力してEnterキーを押下することで登録商品呼び出すことができます。

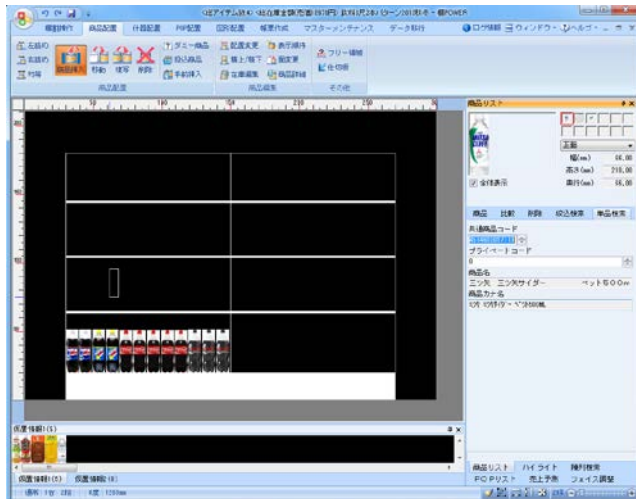


3. 「絞り込み検索」タブからは、全商品から条件を指定して商品を絞り込みます。

例えば、陳列する商品を商品名で検索する場合には
「文字検索」タブより、項目を「商品名」にして文字列に商品名を入力します。

左下の「該当商品数」をクリックして実行すると商品名に入力した文字が含まれる商品を全て商品リストに表示させることができます。



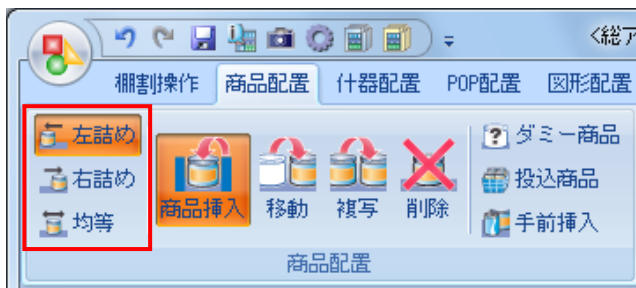
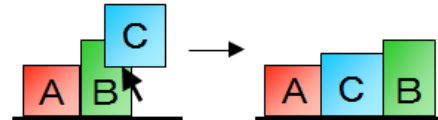


4. 検索した商品を陳列します。
商品リストより陳列したい商品を選択して棚の陳列したい場所でクリックします。

商品リストから陳列する商品をCtrlキーやShiftキーを押しながら、複数選択後、棚内でクリックして複数商品をまとめて陳列することもできます。

※商品リストから陳列したい商品を選択すると、自動的に「商品挿入」が選択された状態になります。

陳列済の商品と商品の間に、新たな商品を挿入したい場合は、挿入したい場所の右側にある商品をクリックすると、間に陳列することができます。



5. 商品配置方法は「左詰め」「右詰め」「均等」「自由」から選択可能です。

【左詰め】

棚のどの位置でクリックしても左詰で商品を陳列します。

【右詰め】

棚のどの位置でクリックしても右詰で商品を陳列します。

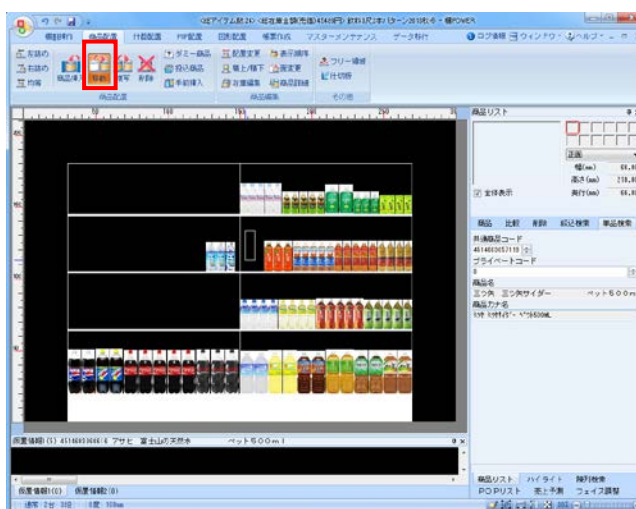
【均等】

陳列する商品の間隔を均等にして陳列します。

【自由】

クリックした場所に商品を陳列します。
挿入方法が全て無効の状態が自由配置になります。

※挿入方法が有効になっているとオレンジ色になります。
再度クリックすると無効になります。

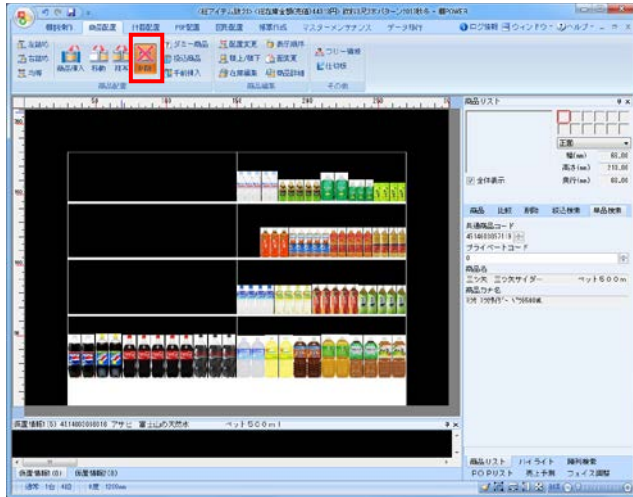


6. 棚に陳列した商品を移動します。
「商品配置」－「移動」を選択して、棚内の移動したい商品をクリックします。移動したい場所で再度クリックすると陳列する商品の位置を変更できます。

商品の複写も手順は同じです。

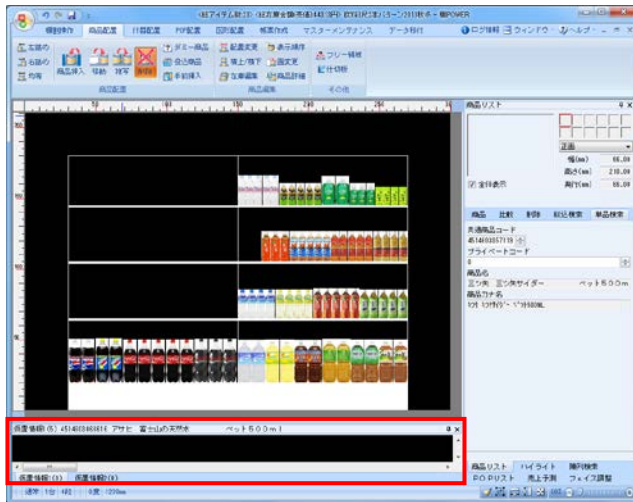
「商品配置」－「複写」を選択して、棚内の複写したい商品をクリックします。複写したい場所で、再度クリックすると商品の複写ができます。

※ドラッグ（範囲選択）することで、複数商品をまとめて移動/複写することも可能です。



7. 陳列した商品の削除を行ないます。
 [商品配置] - [削除] を選択して削除したい商品をクリックします。

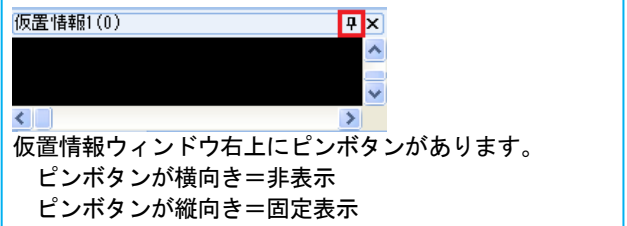
※ドラッグ（範囲選択）することで、複数商品をまとめて削除することも可能です。



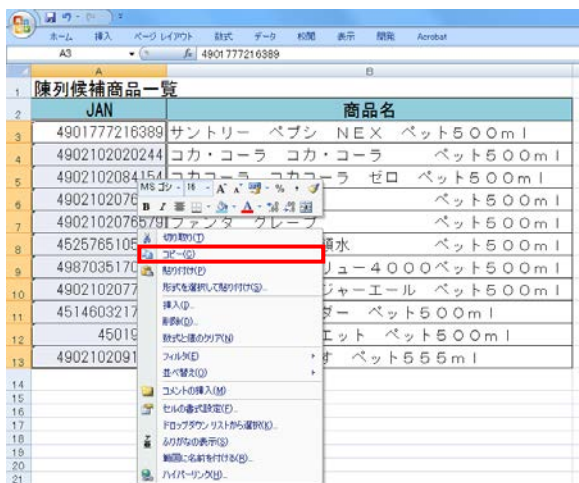
8. 棚割編集画面の下には仮置情報が表示されています。
 棚以外の場所に商品を一時的に並べる場合に仮置情報を活用します。

非表示の場合は[棚割操作] - [仮置情報 1,2] をクリックします。

仮置情報には「1」と「2」があるため、それぞれに陳列候補商品やカット候補商品を並べるなどの使い分けが可能です。



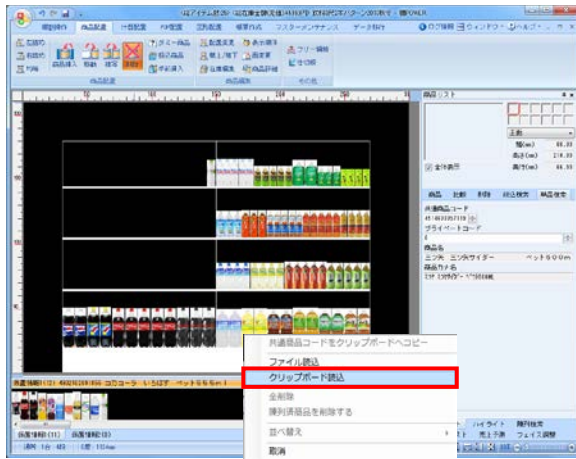
仮置情報ウィンドウ右上にピンボタンがあります。
 ピンボタンが横向き=非表示
 ピンボタンが縦向き=固定表示



9. Excelファイルなどに記載されているJANコードをコピーして、仮置情報に挿入することが可能です。

商品台帳などのJANコードが記載されているファイルを開き、JANコードをコピーします。

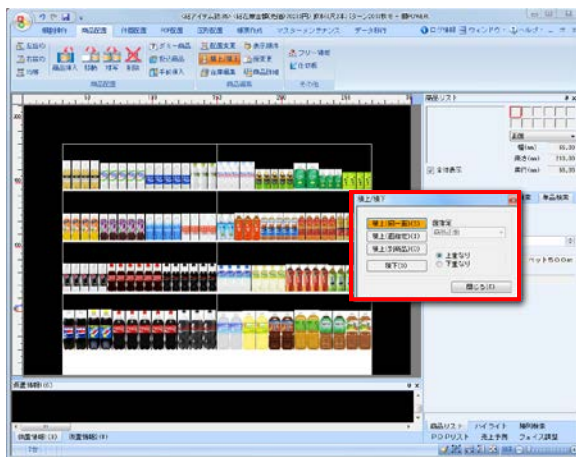
コピー完了後、棚POWERに戻ります。



10. コピーしたJANコードの読み込みを行ないます。
仮置情報ウィンドウ内で右クリックします。

メニューの一覧より「クリップボード読み込み」をクリックします。コピーしたJANコードの商品が仮置情報に表示されます。

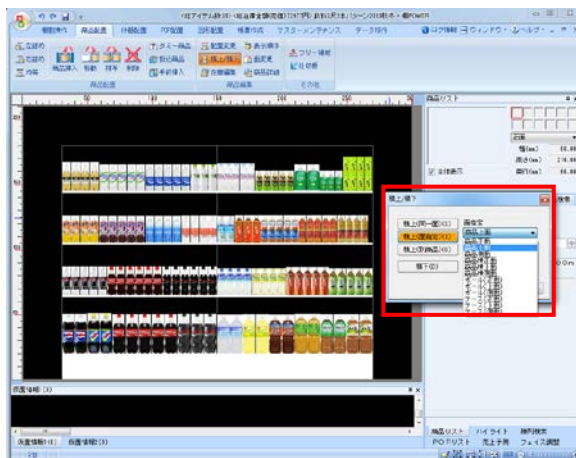
11. 仮置情報内の商品は、[商品配置] - [移動] もしくは、[複写] を使用して棚に陳列します。



12. 商品の積上げを行ないます。
[商品配置] - [積上/積下] をクリックします。

陳列している商品と同じ商品の同一面を積上げる場合は、[積上(同一面)] をクリックして、積上げたい商品をクリックします。

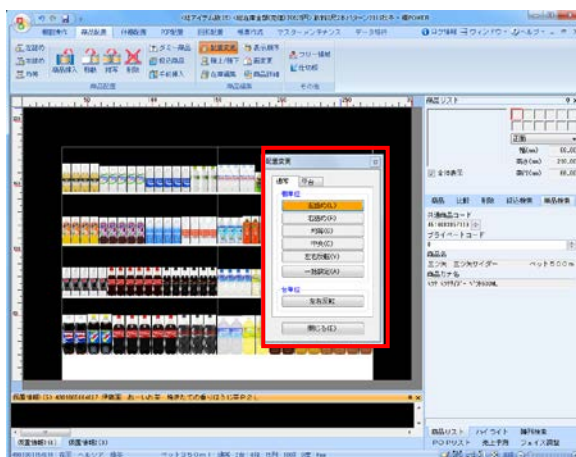
ドラッグすると複数商品をまとめて積上げできます。



13. 陳列している商品と同商品の別の面を積上げる場合は、[積上(面指定)] をクリックします。

面指定の項目より積上げたい面を選択します。
積上げたい商品の上でクリック、もしくはドラッグすると別の面を積上げることができます。

※商品を積下げたい場合には、[積下] を選択して積下げたい商品の上でクリック、もしくはドラッグします。



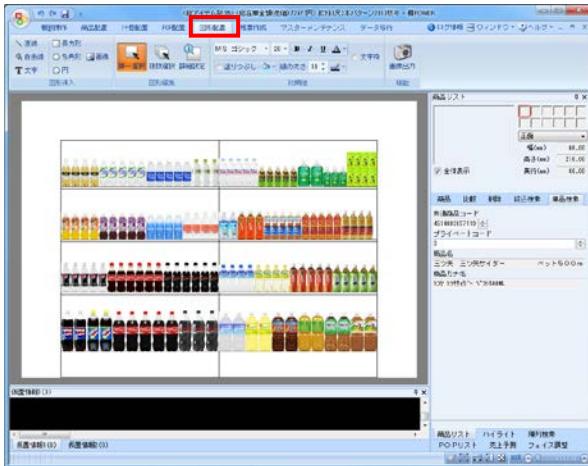
14. 商品の陳列や削除を繰り返していると商品の配置が乱れてきます。[配置変更] を使用して商品の配置位置を変更することができます。

[商品配置] - [配置変更] をクリックします。
「左詰め」、「右詰め」、「均等」などの項目を選択して配置位置を変更したい棚でクリックします。

「左詰め」を選択して、[一括設定] をクリックすると全台を対象に商品を左詰に配置変更できます。

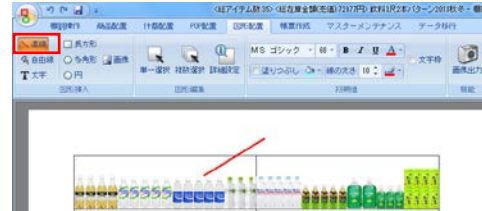
※商品の陳列完了後、棚内の商品を全て均等に配置したい場合は、均等を選択して[一括設定] を実行することで全商品の陳列間隔が統一されます。

■棚割モデルに図形やコメントを配置する



1. 作成した棚割に直線や曲線、長方形や円などの図形や文字、画像を挿入したい場合には「図形配置」タブをクリックします。

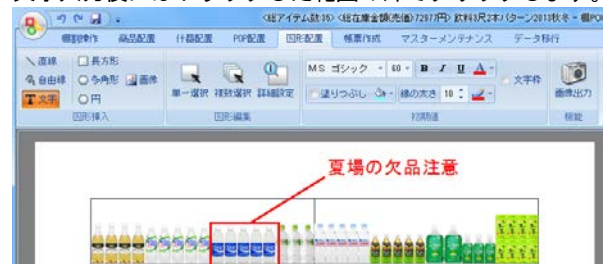
線を引きたい場合には「直線」もしくは「自由線」を選択して、編集画面上でドラッグします。



2. 商品を囲みたい場合には「長方形」や「円」を選択して、編集画面上でドラッグします。

文字を挿入したい場合には「文字」を選択して、文字を挿入したい場所でドラッグします。

カーソルアイコンが点滅すれば文字を入力します。文字入力後にはドラッグした範囲の外でクリックします。



3. 挿入する図形の線の太さや文字のフォントは初期値の設定内容が反映します。

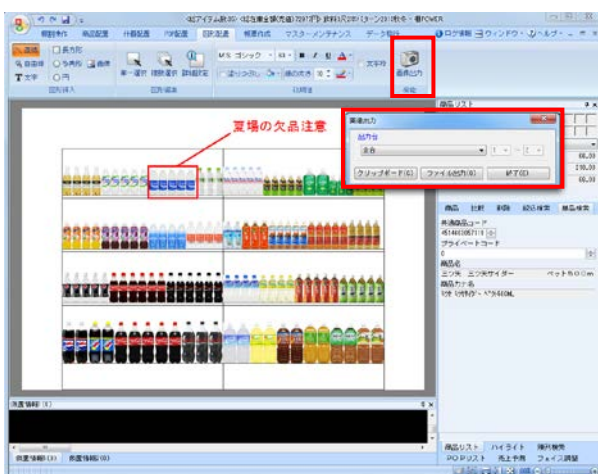
また、「詳細設定」より挿入済みの図形や文字を選択すると線の太さやフォントを変更することが可能です。



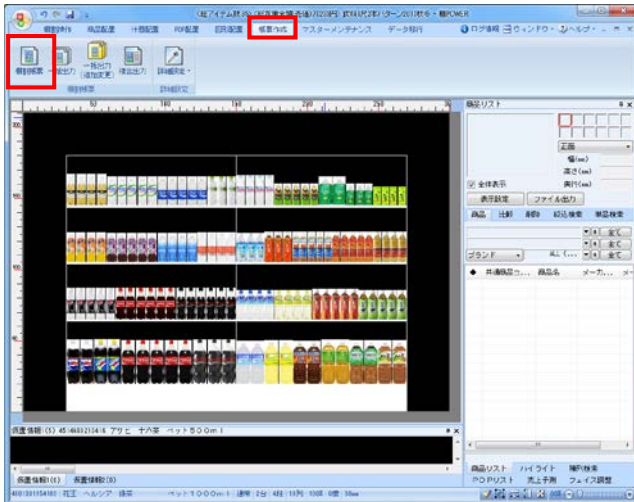
4. 「画像出力」より挿入した線や図形、文字を含めた棚割画像を出力できます。

クリップボードへの出力や画像ファイルとして出力することができます。

また、帳票の「棚割図」を出力する際に図形配置で編集した内容を反映させることも可能です。

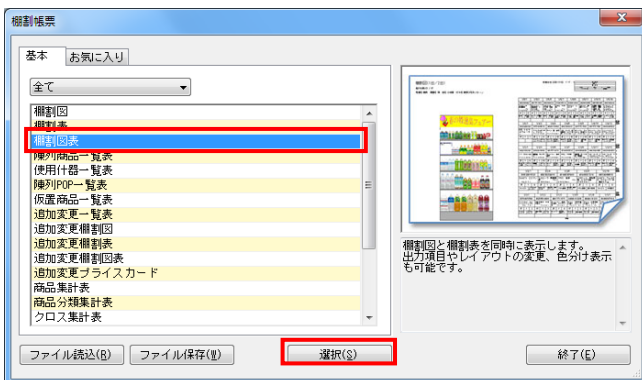


■開いている棚割モデルの帳票を作成する（棚割図表）



1. 棚割モデルの作成が完了したので、続いて帳票の作成を行ないます。

〔帳票作成〕－〔棚割帳票〕をクリックします。



2. 出力できる帳票の一覧が表示されます。帳票名を選択すると右側に出力する帳票のイメージ図と概要説明が表示されます。

ここでは、棚割図表を出力します。

帳票の一覧より「棚割図表」を選択して、〔選択〕をクリックします。



3. 棚割図表の設定画面が表示されるため、出力時の設定を行ないます。

レイアウトの設定を行います。

レイアウト上で設定したい行または列を選択して、選択可能項目から項目を選択します。

【レイアウト設定】

行追加：最終行に空白行を追加します

行挿入：選択行の上に空白行を挿入します

行削除：選択行を削除します

エリア内設定

行追加：1行分の高さを追加します

行削除：複数行の高さを1行ずつ削除します

列追加：選択行内に列を追加して分割します

列削除：追加された列を1列ずつ削除します

【出力台】

「全台」「全台(1頁台数指定)」「台別」「台別(1頁出力)」から選択します。

【メインタイトル】

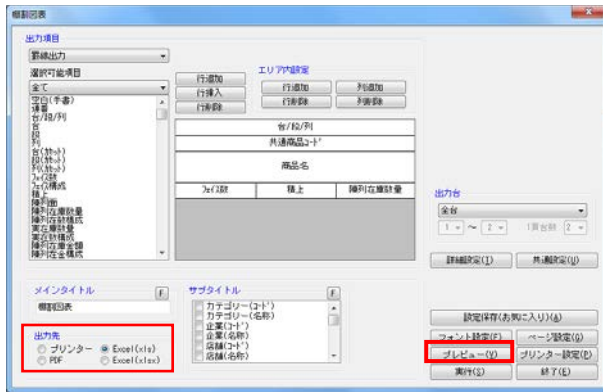
出力するメインタイトルを入力します。

[F] ボタンより、フォント調整が可能です。

【サブタイトル】

「棚割モデル名称」「作成者氏名」「総アイテム数」など出力したい項目にチェックを入れて設定します。

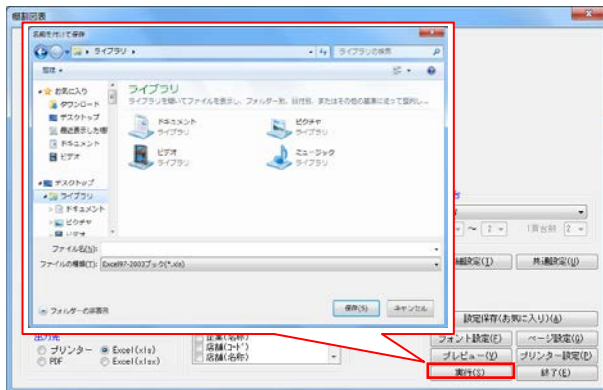
[F] ボタンより、フォント調整が可能です。



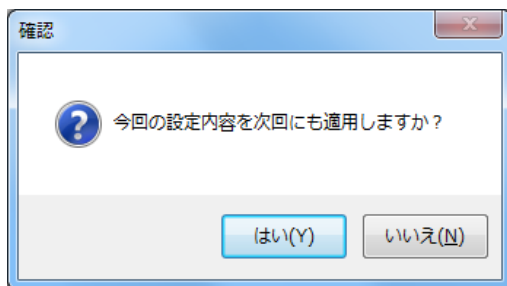
4. 帳票設定画面の「プレビュー」をクリックすると出力される内容を確認することができます。

出力先よりExcelやPDF、プリンターを選択して「実行」をクリックします。

※Excel(xls) はMicrosoft Excel 97-2003形式、
Excel(xlsx)はMicrosoft Excel 2007以降の形式で出力されます。



5. 保存場所を決定して、任意のファイル名を入力して「保存」をクリックすると帳票が出力されます。

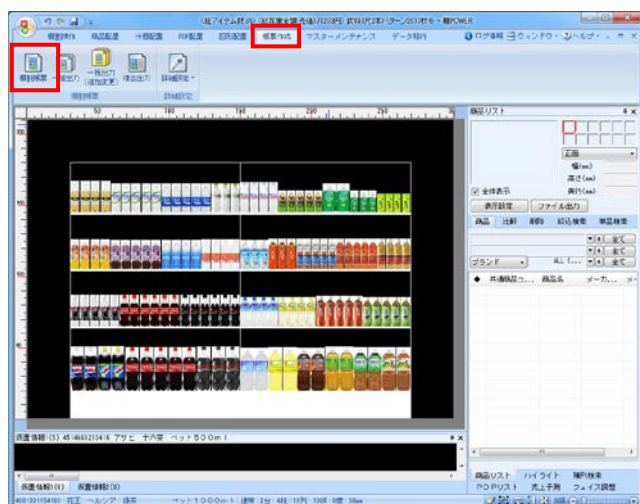


6. 出力後、画面右上の「×」ボタン、もしくは画面右下の「終了」ボタンをクリックします。

前回の設定内容から変更があった場合には「今回の設定内容を次回にも適用しますか?」というメッセージが表示されます。

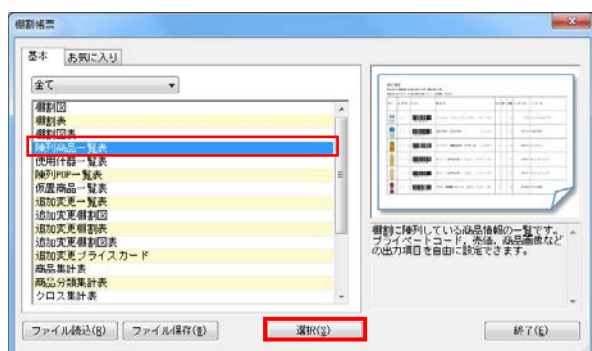
「はい」を選択すると帳票の設定内容が保存されます。設定保存を行なうと、次回以降に同じ設定で出力する場合の手間を省略することができます。

■開いている棚割モデルの帳票を作成する（陳列商品一覧表）

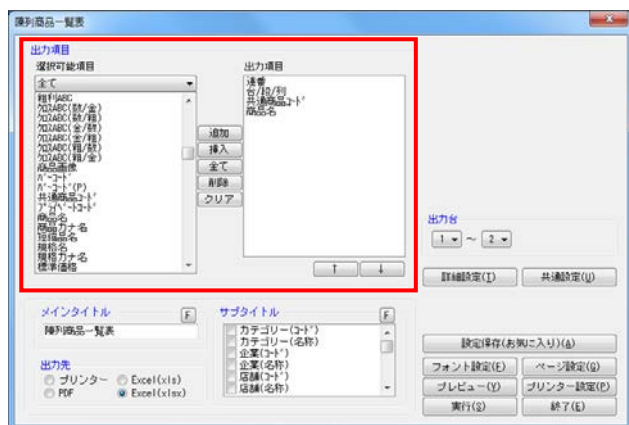


1. 棚に陳列されている商品の一覧表を出力したい場合には、陳列商品一覧表を使用します。

〔帳票作成〕－〔棚割帳票〕をクリックします。



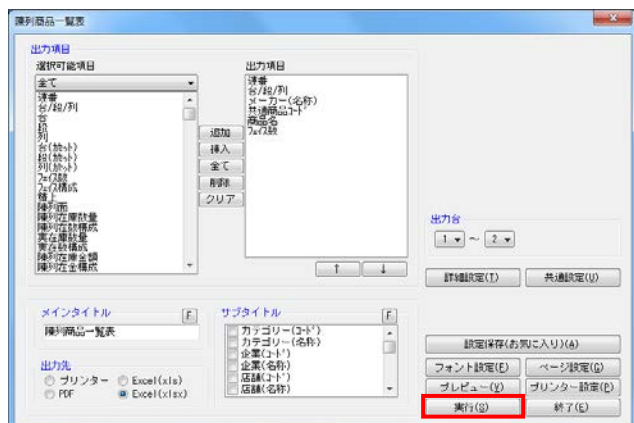
2. 帳票の一覧より「陳列商品一覧表」を選択して、〔選択〕をクリックします。



3. 陳列商品一覧表の設定画面が表示されるため、出力する項目の設定を行ないます。

選択可能項目より出力したい項目を選択して〔追加〕をクリックします。

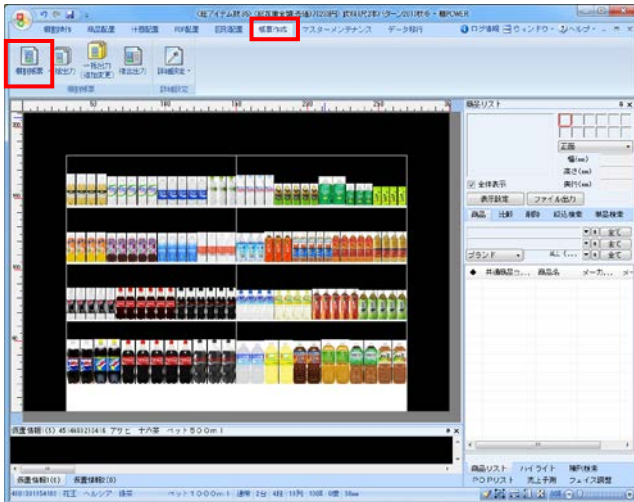
出力する項目順を変更する場合は項目を選択して〔↑〕〔↓〕で変更します。



4. 出力先よりExcelやPDF、プリンターを選択して〔実行〕をクリックします。

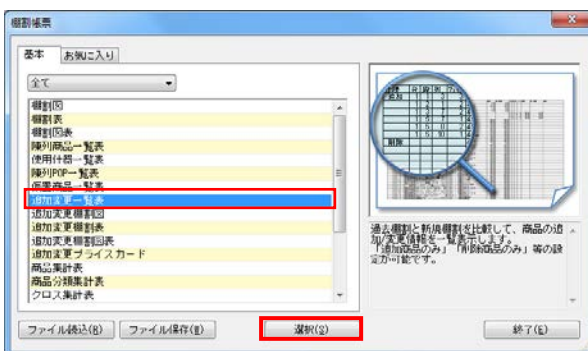
保存場所を決定して、任意のファイル名を入力して〔保存〕をクリックすると帳票が出力されます。

■開いている棚割モデルの帳票を作成する（追加変更一覧表）

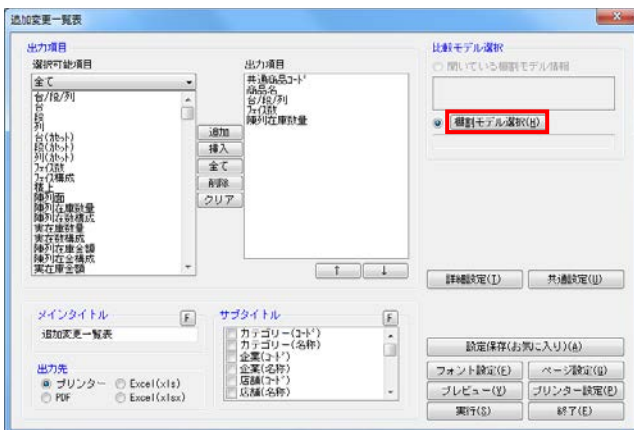


1. 開いている棚割モデルと別の棚割モデルを比較して、追加商品やカット商品の一覧表を出力することができます。

〔帳票作成〕－〔棚割帳票〕をクリックします。



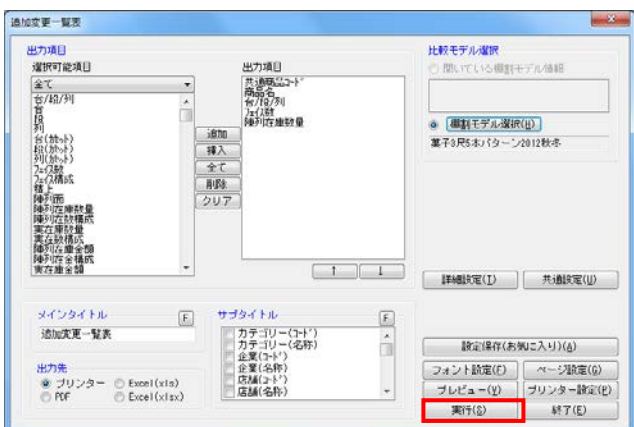
2. 帳票の一覧より「追加変更一覧表」を選択して、〔選択〕をクリックします。



3. 〔棚割モデル選択〕より比較したい棚割モデルを選択します。

その後、選択可能項目より出力したい項目を選択して〔追加〕をクリックします。

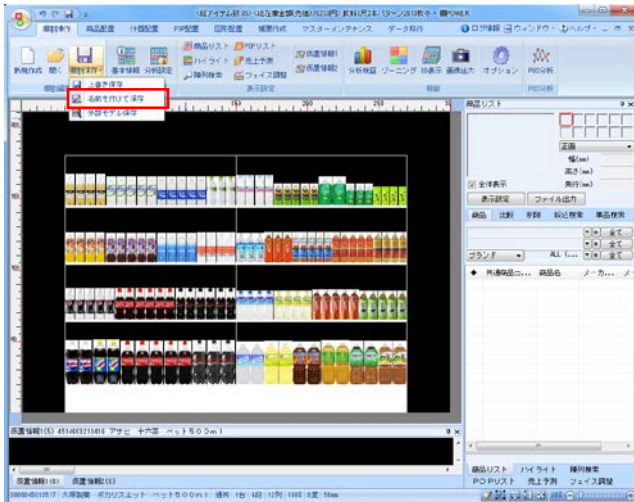
出力する項目順を変更する場合は項目を選択して〔↑〕〔↓〕で変更します。



4. 出力先よりExcelやPDF、プリンターを選択して〔実行〕をクリックします。

保存場所を決定して、任意のファイル名を入力して〔保存〕をクリックすると帳票が出力されます。

■作成した棚割モデルを保存する

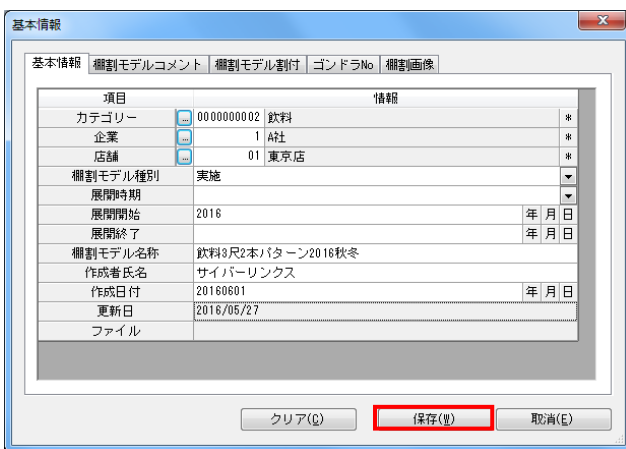


1. 「棚割操作」－「棚割保存」をクリックして、作成した棚割モデルを保存します。
ここでは、「名前を付けて保存」をクリックします。

新規作成した棚割モデルを保存する際に「上書き保存」や「名前を付けて保存」を選択すると内部モデルとして保存されます。

内部モデルとは…

棚POWERの環境設定で指定している専用フォルダーに保存したものを「内部モデル」と呼びます。
1フォルダー内に保存するため、モデルの管理が容易で、モデルを開く際に検索条件の指定が可能です。



2. 「基本情報」画面が表示されます。
各項目を設定して「保存」をクリックします。

各項目の詳細は以下になります。

【カテゴリー】

どのカテゴリーの棚割モデルなのかを設定します。

【企業/店】

どの企業/どの店舗の棚割モデルなのかを設定します。

【棚割モデル種別】

実施と提案があり、グループ分けを行ないます。
次回棚割モデルを「提案」に、実際に採用した棚割モデルを「実施」として利用するなどのルール付けを行なって管理できます。

【展開時期】

作成する棚割モデルの展開時期をプルダウンメニューより選択します。

【展開開始/展開終了】

作成する棚割モデルの展開する開始日や終了日を入力します。
日付をキーボードで直接入力するか、《年/月/日》をクリックしてパソコンの日付を設定することができます。

【棚割モデル名称/作成者氏名】

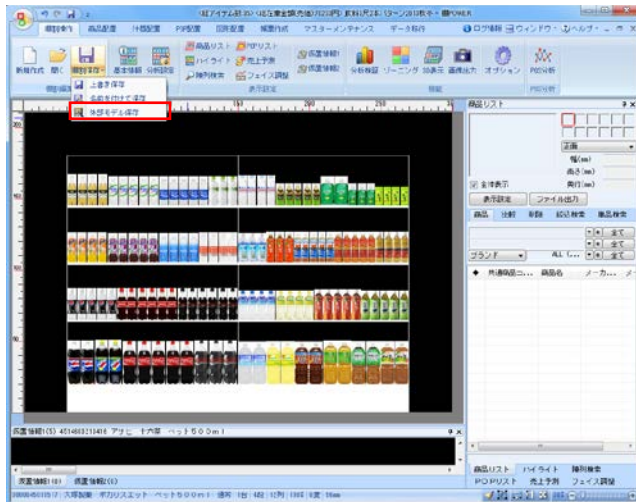
棚割モデルの名称や作成者の氏名を入力して管理します。

【作成日付】

棚割モデルがいつ作成されたのかを登録します。
日付をキーボードで直接入力するか、《年/月/日》をクリックしてパソコンの日付を設定することができます。

※基本情報の登録は必須ではありません。

基本情報を登録していない場合でも保存することは可能です。

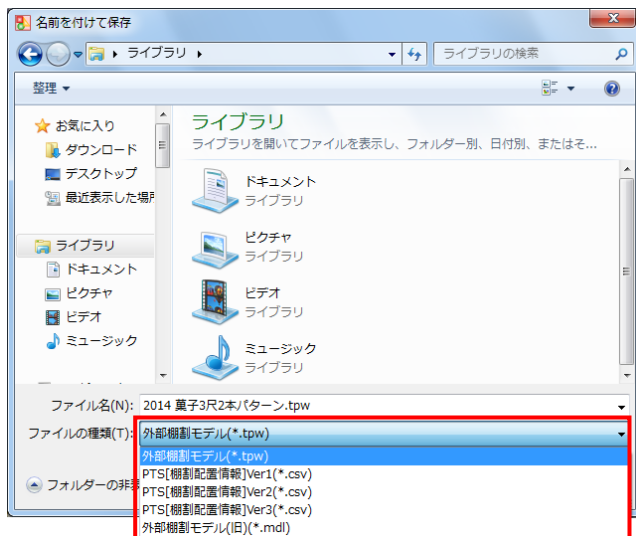


3. 外部モデルで保存するときは「棚割操作」－「棚割保存」－「外部モデル保存」を選択します。

外部モデルとは…

棚POWERの環境設定で指定している専用フォルダーとは別の場所(マイドキュメントやデスクトップなど)に保存する棚割モデルを「外部モデル」と呼びます。

フォルダーを分けることが可能なため、得意先ごとに管理することができます。他の担当者や得意先と棚割モデルを受け渡しすることが可能です。



4. 「名前を付けて保存」画面が表示されます。任意のファイル名を入力して、ファイルの種類を選択します。

棚POWER独自形式である「外部棚割モデル (*.TPW)」を選択して「保存」をクリックします。

【外部棚割モデル (*.TPW)】

棚POWER独自の形式であり再現性が高く、棚POWER同士のやり取りをする場合に使用します。

【PTS[棚割配置情報]Ver1 (*.csv)】

他社棚割ソフトと棚割モデルをやり取りする共通のフォーマットです。

【PTS[棚割配置情報]Ver2 (*.csv)】

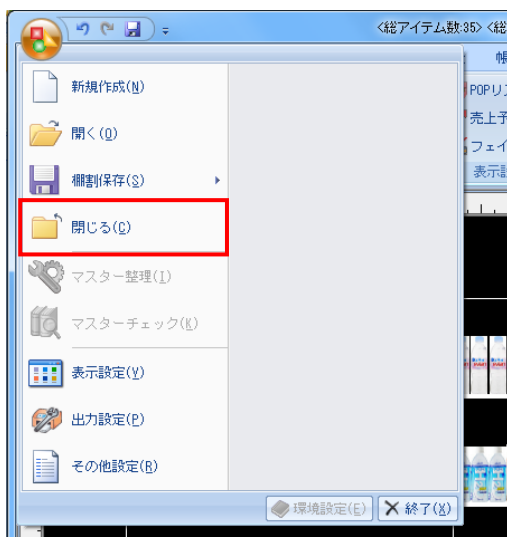
他社棚割ソフトと棚割モデルをやり取りする共通のフォーマットです。在庫情報や仕器情報を持っているため、Ver1よりも再現性が高くなっています。

【PTS[棚割配置情報]Ver3 (*.csv)】

他社棚割ソフトと棚割モデルをやり取りする共通のフォーマットです。Ver2に加え、別商品積上や手前挿入の情報も持ち、更に再現性が高くなっています。

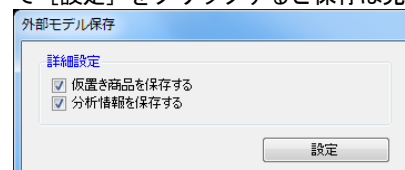
【外部棚割モデル (旧) (*.mdl)】

Ver17以下の棚POWER独自の形式です。



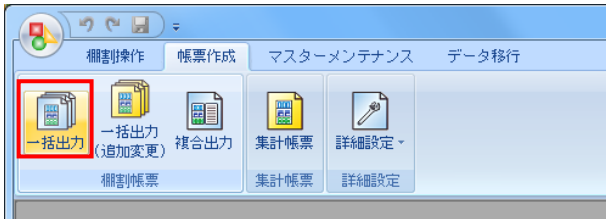
5. 保存を実行すると「外部モデル保存」画面が表示されます。

仮置情報に陳列されている商品や分析情報(売上情報の割り当て)を含めて保存する場合は、どちらにもチェックを入れて「設定」をクリックすると保存は完了です。



開いている棚割モデルを閉じる場合には、画面左上の棚POWERの丸いボタンをクリックして、「閉じる」をクリックします。

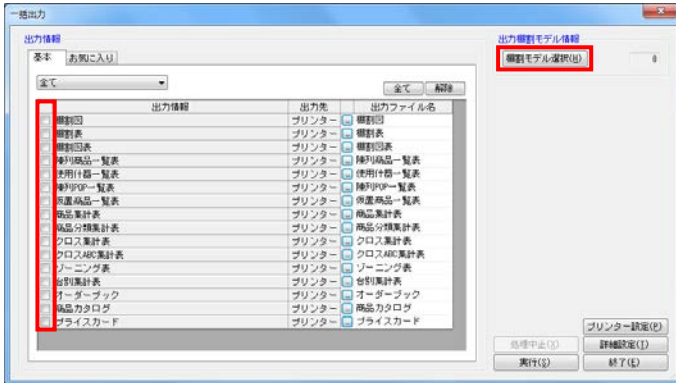
■複数の棚割モデルの帳票を一括で作成する（一括出力）



1. 複数の棚割モデルの帳票をまとめて出力することができます。

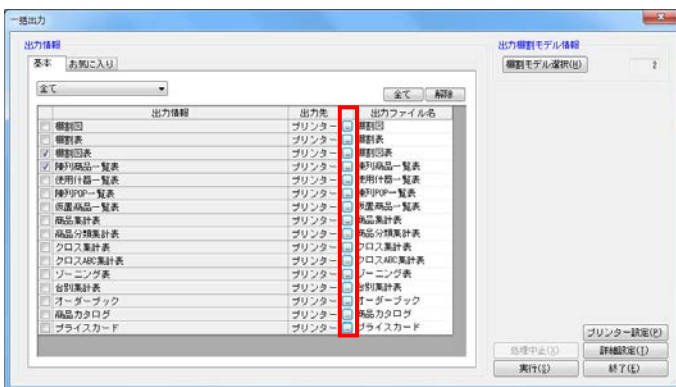
「棚割操作」－「一括出力」を選択します。

※棚割モデルを開いている場合には、開いている棚割モデルを対象に複数種類の帳票をまとめて出力できます。



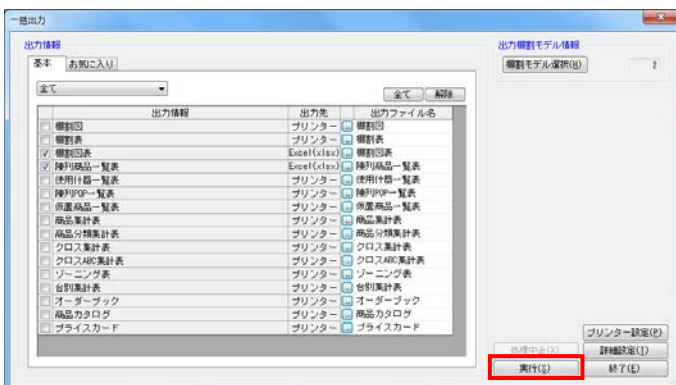
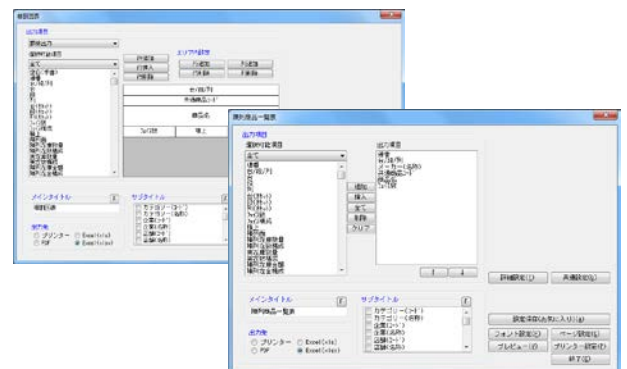
2. 「棚割モデル選択」より出力したい棚割モデルを選択します。

棚割モデルの選択後には出力情報より、出力したい帳票のチェックボックスを有効にします。



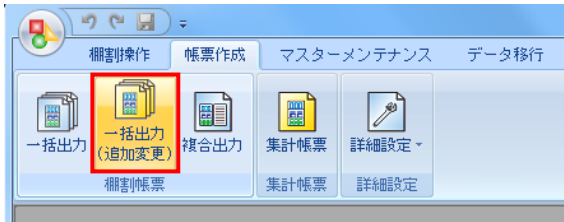
3. 各帳票の出力時の設定を行います。
出力先横にあるセレクトボタンをクリックして設定画面を表示させます。

各帳票の出力項目や出力先を設定して、設定画面を閉じます。



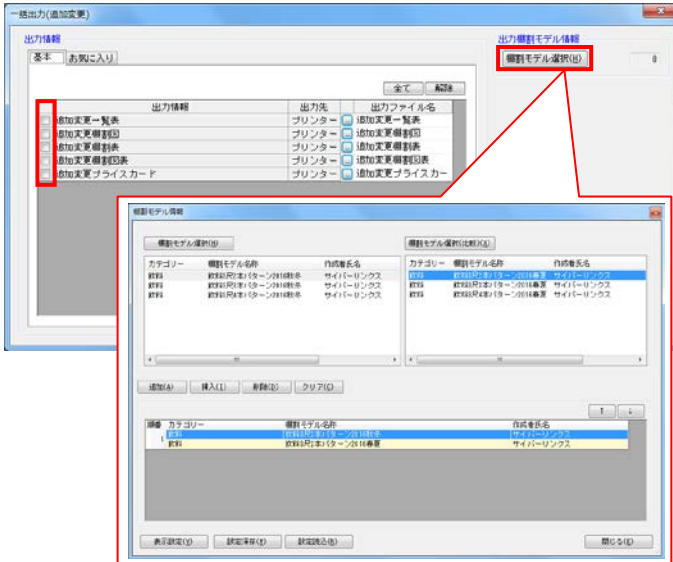
4. 「実行」をクリックします。
保存先を選択すると帳票がまとめて出力されます。

■複数の棚割モデルの帳票を一括で作成する（一括出力（追加変更））



1. 棚割モデル同士を比較して追加変更系の帳票をまとめて出力することができます。

「棚割操作」－「一括出力 (追加変更)」を選択します。

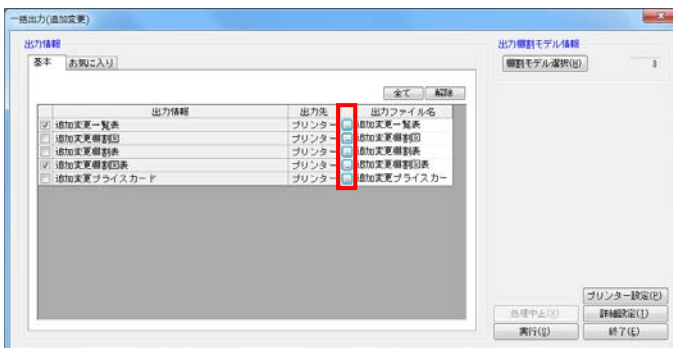


2. 「棚割モデル選択」より出力したい棚割モデルの組み合わせを設定します。

「棚割モデル選択」より基本棚割モデル、「棚割モデル選択 (比較)」より比較する棚割モデルを選択します。

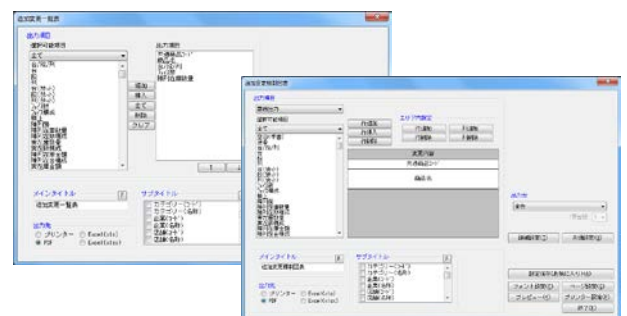
各ウィンドウで対する棚割モデルと棚割モデル (比較) を選択して「追加」をクリックします。

棚割モデルの組み合わせを設定した後、「閉じる」をクリックします。その後、出力情報より出力したい帳票のチェックボックスを有効にします。

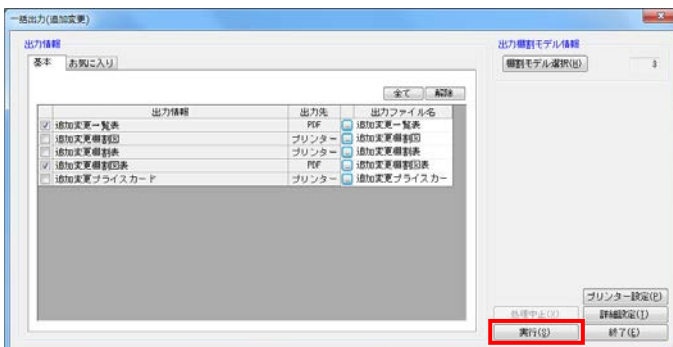


3. 各帳票の出力時の設定を行います。出力先横にあるセレクトボタンをクリックして設定画面を表示させます。

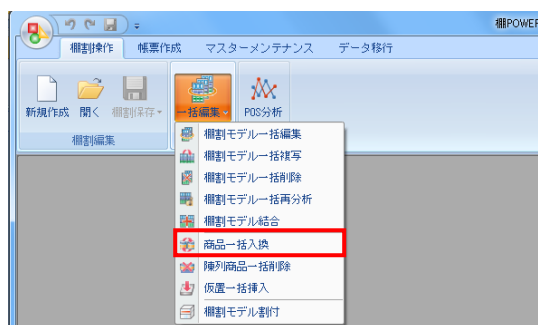
各帳票の出力項目や出力先を設定して、設定画面を閉じます。



4. 「実行」をクリックします。保存先を選択すると帳票がまとめて出力されます。

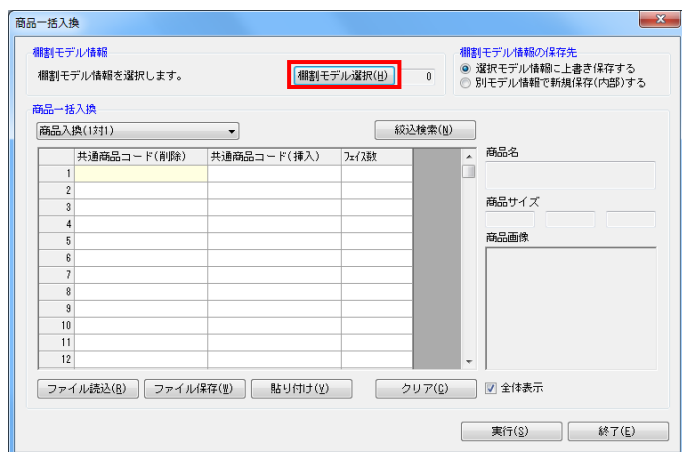


■ 陳列商品を別商品と入換える

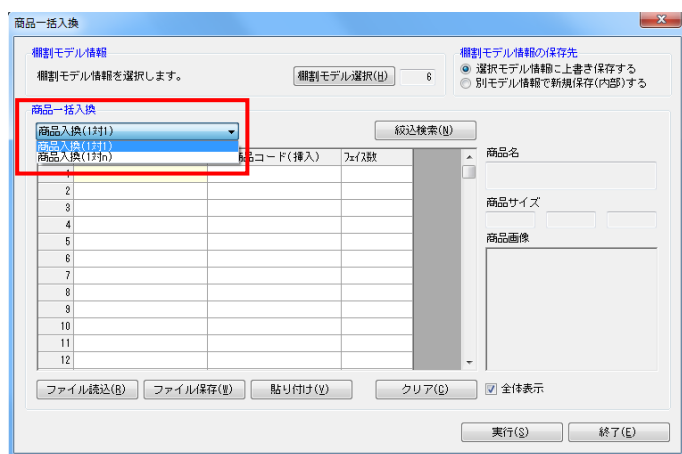


1. 棚割モデルに陳列されている商品を、まとめて別の商品に入れ換えることが可能です。

〔棚割操作〕－〔一括編集〕－〔商品一括入換〕を選択します。

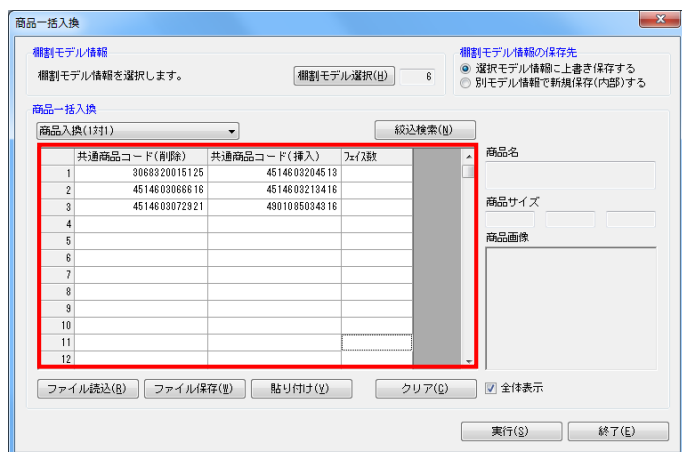


2. 〔棚割モデル選択〕をクリックします。
棚割モデル選択画面で検索して、商品入換を行ないたい棚割モデルを選択して〔選択〕をクリックします。



3. 商品の入換方法を選択します。
1商品ずつの入換を行なう場合には「商品入換(1対1)」を選択します。

※1商品をカットして、複数商品を挿入する場合には「1対n」の入換方法を選択して実行します。



4. 共通商品コード(削除)に削除する商品のJANコードを入力して共通商品コード(挿入)に挿入する商品のJANコードを入力します。

挿入する商品のフェイス数を指定する場合には、フェイス数にも値を入力します。

※フェイス数が未入力の場合には削除商品のフェイス数を維持して商品を入れ換えます。

	A	B	C	D
1	削除	挿入		
2	4902777042428	4901005136663		
3	4901330560737	4901330502911		
4	4901330559199	4901330522841		
5	4901330130138	4901330100247		
6				



商品一括入換

棚割モデル情報
棚割モデル情報を選択します。

棚割モデル選択(H) 4

棚割モデル情報の保存先
● 選択モデル情報に上書き保存する
○ 別モデル情報で新規保存(内部)する

商品一括入換
商品入換(1対1)

共通商品コード(削除) 共通商品コード(挿入) 対応検索(N)

共通商品コード(削除)	共通商品コード(挿入)	対応検索(N)	商品名
1 4902777042428	4901005136663		
2 4901330560737	4901330502911		
3 4901330559199	4901330522841		
4 4901330130138	4901330100247		

貼り付け(Y) クリア(C) 全件表示

実行(S) 終了(E)

商品一括入換

棚割モデル情報
棚割モデル情報を選択します。

棚割モデル選択(H) 6

棚割モデル情報の保存先
● 選択モデル情報に上書き保存する
○ 別モデル情報で新規保存(内部)する

商品一括入換
商品入換(1対1)

共通商品コード(削除) 共通商品コード(挿入) 対応検索(N)

共通商品コード(削除)	共通商品コード(挿入)	対応検索(N)	商品名
1 4902777042428	4901005136663		
2 4901330560737	4901330502911		
3 4901330559199	4901330522841		
4 4901330130138	4901330100247		

貼り付け(Y) クリア(C) 全件表示

実行(S) 終了(E)

商品一括入換

棚割モデル情報
棚割モデル情報を選択します。

棚割モデル選択(H) 7

棚割モデル情報の保存先
● 選択モデル情報に上書き保存する
○ 別モデル情報で新規保存(内部)する

商品一括入換
商品入換(1対1)

共通商品コード(削除) 共通商品コード(挿入) 対応検索(N)

共通商品コード(削除)	共通商品コード(挿入)	対応検索(N)	商品名
1 4902777042428	4901005136663		
2 4901330560737	4901330502911		
3 4901330559199	4901330522841		
4 4901330130138	4901330100247		

貼り付け(Y) クリア(C) 全件表示

実行(S) 終了(E)

5. ExcelやCSV、テキストファイルなどに、削除や挿入商品のJANコードが入力されている場合にはそれらをコピーして貼り付けることが可能です。

削除や挿入商品JANコードが入力されているファイルを開き、入力されているJANコードをドラッグして[右クリック] - [コピー] を選択します。

6. 商品一括入換の画面に戻ります。
[貼り付け] をクリックして「共通商品コード（削除）」や「共通商品コード（挿入）」にコピーしたJANコードを貼り付けます。

7. 「棚割モデル情報の保存先」より保存先を設定して実行します。
ここでは「選択モデル情報に上書き保存する」を有効にして[実行] をクリックします。

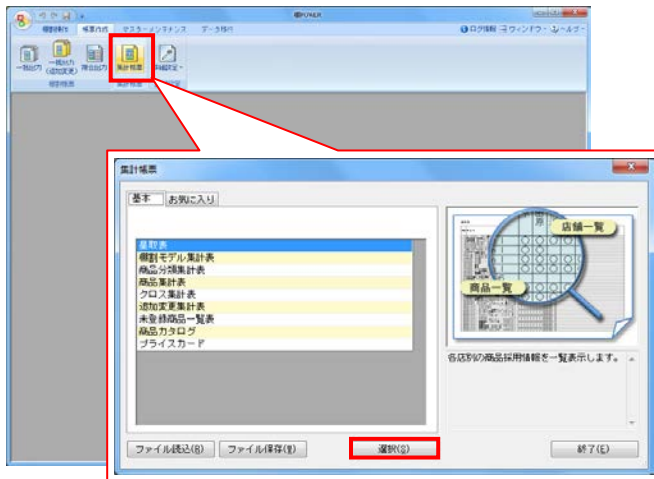
参考

「別モデル情報で新規保存(内部)する」を有効にすると、商品入換後の棚割が別棚割モデルとして保存されます。

8. 処理が終了するとログ情報の確認画面が表示されます。
[はい] を選択すると処理の結果を確認することができます。

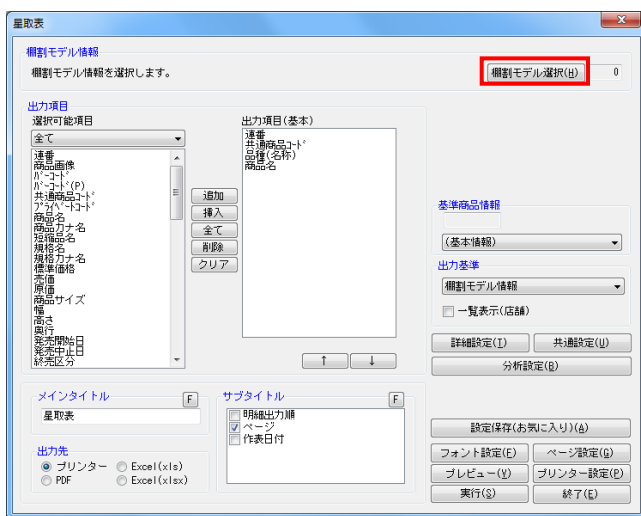
処理結果の確認後にはログ情報画面を[終了] で閉じます。また、商品一括入換の画面も[終了] で閉じます。

■採用されている商品を確認する

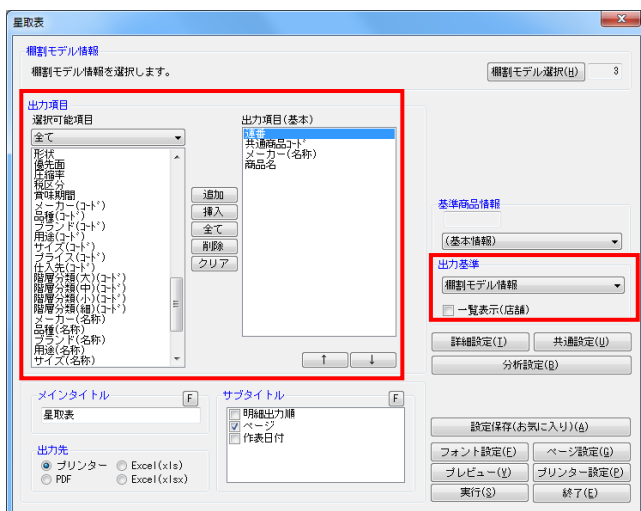


1. 複数の棚割モデルを集計して、各モデルの商品取扱状況を星取表形式で確認することができます。

〔帳票作成〕－〔集計帳票〕を選択します。
一覧より「星取表」を選択して〔選択〕をクリックします。



2. 「棚割モデル選択」より出力対象となる棚割モデルを選択します。



3. 出力する項目の設定を行ないます。
選択可能項目より出力したい項目を選択して〔追加〕をクリックします。

出力する項目順を変更する場合は項目を選択して〔↑〕〔↓〕で変更します。

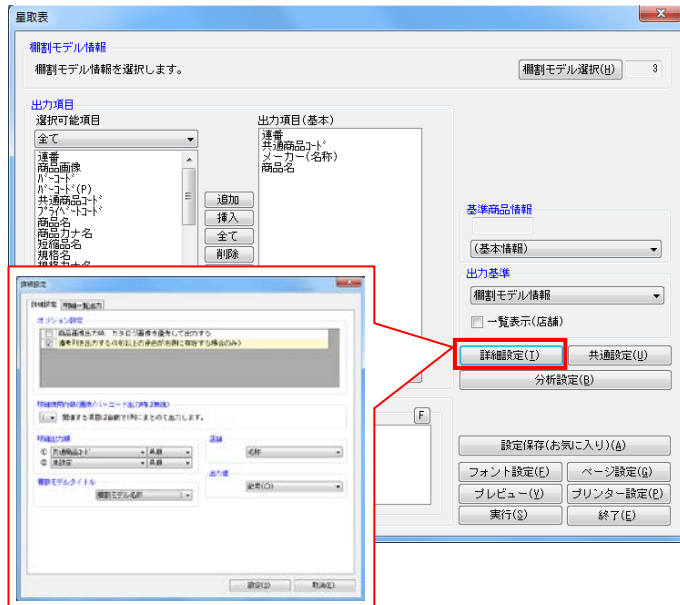
また、出力基準は「棚割モデル情報」を選択します。
「一覧表示(店舗)」は無効にします。

※「一覧表示(店舗)」を有効にすると各モデルを採用している店舗を確認できる星取表が出力できます。

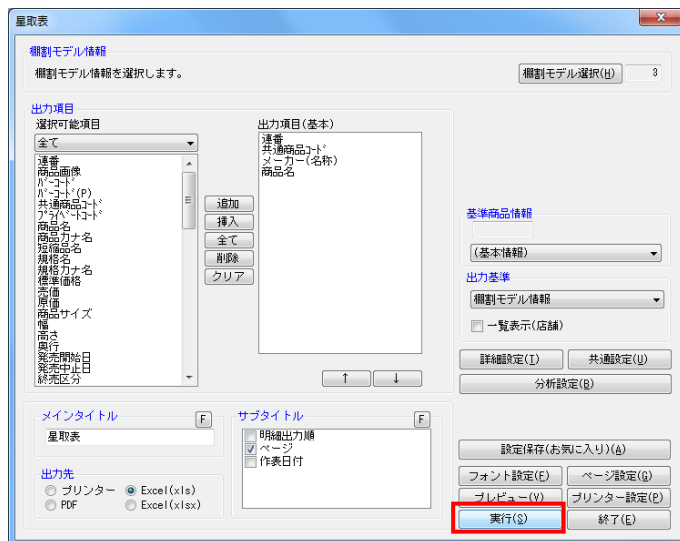
また出力基準を「店舗」にした場合には店舗基準で商品の取り扱い状況を確認できるようになります。

どちらの場合にも棚割モデルと店舗の関連付けを設定されていない場合には出力できません。

(関連付けが未設定であれば出力時にメッセージが表示されます)



4. 「詳細設定」をクリックして、明細出力順や棚割モデルタイトル、出力値を設定します。



5. 出力先よりプリンター、Excel出力などを選択して「実行」をクリックすると星取表が出力されます。

6. 以上で棚POWER操作研修会の内容は終了です。